

成果指標				
成果指標	精神障がい者や家族を対象としたデイケア・家族懇談会の参加状況や相談件数。自殺予防や心の健康に関する研修会等の実施回数、参加者数。自殺者数・率。			
指標設定の考え方	精神障がい者や心に不安や悩みを抱える人その家族が重症化しないうちに気軽に相談できるようになる。また、健康教室の参加により理解が深まり、地域で安心して暮らすことができる支援体制の構築と指導者育成強化につなげる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	1820	1520	1350	0
実績	1962	1275	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	精神障がい者が自立した生活が送れるよう関係機関と連携し、引き続き当事者や家族の支援を行っていく。また、地域住民が障がいについて正しく理解し、地域での見守りをしていただけるよう、また、心の悩みや不安をもつ方が、問題を抱え込まないように、相談窓口についての普及啓発を行っていききたい。また、事業に関わるスタッフが常に事業の目的意識を認識しながら、事業運営し、PDCAサイクルに沿った活動を行うことが大切である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	心の不調を抱える人が増加傾向にある中、相談にかかる時間も増加傾向にあり、職員のメンタル面のサポートも必要である。支援に当たる関係者で、情報を共有し、心の不調を抱える人や、精神障がい者とその家族が安心して生活できるよう支援を行っていくことが必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	